## model

DB の構造や操作手順を記述するファイル.

クラス変数うの Field クラスは DB テーブルのフィールドを表す.

フィールドの変更を行った後は manage.py makemigrations で migrate ファイルを作成し, manage.py migrate で変更を適用する必要がある.

Meta クラスを定義することでテーブル名やデフォルトのソートオーダなどを指定可能.

Listing 1 models.py 記述例

```
1 from django.db import models
2 3 4 class Question(models.Model):
5 class Meta:
6 verbose_name = '質問'
7 verbose_name_plural = '質問の複数形'
8 question_text = models.CharField(max_length=200)
```

## フィールド例

フィールド名	内容	補足
CharField	文字列	文字数の指定が必要
TextField	文字列	こっちは何文字で OK
IntegerField	数字	
SmallIntegerField	数字	ステータス等の桁数の短い数字用
BooleanField	Boolean	フラグなど
NullBooleanField	Boolean	None(選択なし) も許す Boolean
DateField	日付	出版日や発売日など時間情報がいらない場合
DateTimeField	日時	作成日など時間まで取りたい場合
ForeignKey	数字 (pk)	1 対多のリレーションに使用
OneToOneField	数字 (pk)	1対1のリレーションに使用
ManyToManyField	-	多対多のリレーション . 中間テーブルが自動生成され
		<b>వ</b>
FileField	文字列 (path)	ファイルを扱うためのフィールド
ImageField	文字列 (path)	画像ファイルを扱うためのフィールド

## フィールドの引数

引数名	設定値	補足
verbose_name	文字列	管理画面等に自動表示される名前
max_length	数字	最大長 . CharField などで文字数の指定に使用
null	True/False	DB で null を許すかどうか
blank	True/False	Form で空の入力を許すかどうか
help_text	文字列	Form 等で使用する補足文字
default	任意の値	DB のデフォルト値 / Form の初期値
choices	(key, value) の taple のリスト	選択肢
editable	True/False	管理画面で編集可能かどうか
auto_now	True/False	自動で現在時刻を挿入する
auto_now_add	True/False	新規作成時のみ自動で現在時刻を挿入する

## クエリセットと instance

モデルクラスは objects という名前で Manager クラスを持っており , Manager クラスを通して DB 上から必要な 行を取得する .

Manager クラスからはクエリセットを得ることもできる.クエリセットは iterable であり,インスタンスを返す. instance は DB テーブルのレコードを示しており,クラス定義で行った Field と同名のメンバ変数を持ち,そのフィールド値を取得できる. Listing 2 queryset の取得と instance の取得

```
qs = Question.objects.all()
for obj in qs:
print(obj.question_text)
```